

大学生生活と感染症

数年前より大学において感染症の拡大が社会問題になっています。インフルエンザは毎年流行し、他の感染症も散発的に発生しています。集団生活を送る上で感染防止のためには、栄養と休養を十分に取って免疫力を高め、うがい・手洗い・咳エチケット・出席停止等の最低限のルールを守るようにしましょう。

学校において予防すべき伝染病（第2種）

飛沫感染する伝染病で学生の罹患が多く学校において流行を広げる可能性が高いものです。

出席停止の期間と基準	インフルエンザ	発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過するまで
	百熱咳	特有の咳が消失するまで、又は、5日間の適正な抗菌剤による治療が終了するまで
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風しん	発疹が消失するまで
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜炎	主要症状が消失後2日を経過するまで
	結核	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
	髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで

健康で有意義な学生生活を送るため下記のことを守りましょう。

- * 定期健康診断を毎年受けましょう。
- * 規則正しい生活習慣（早寝、早起き、栄養バランスのいい食事、など）を身につけましょう。
- * 体調不良のときは無理せず早めに休養をとりましょう。
- * 高熱、長引く咳などの症状があれば、重症になる前に病院に行きましょう。
- * 禁煙もしくは節煙しましょう。

保健センター